

2026年5月8日

YACかわら版708

ブナ林

5月2日



YACかわら版前号⑤図に「奥州山地ブナ林」とタイプした時、5月2日に甘日市市吉和支所を訪問したことを思い出していました。北の方角の十方山に連なる山々の新緑がとても魅力的で、たぶんブナ林の新緑だろうとスマホで撮影していました。①

奥州山地ブナ林周辺はセンチネル2の5月6日観測範囲に含まれています。奥州山地の鳥海山の残雪が印象的です。(鳥海山は標高2,236mの活火山) ③

鳥海山のブナ林が見えるライブカメラを探してみました。過去の画像も検索できる絶好のサイトがありました。鳥海山の麓のフォレスト鳥海にカメラが設置してある由利本荘市観光協会管理の鳥海山ライブカメラです。「ズーム」を選択するとブナ林も見えます。カレンダーで画像が検索できます。

<https://foresta.pixif.jp/>

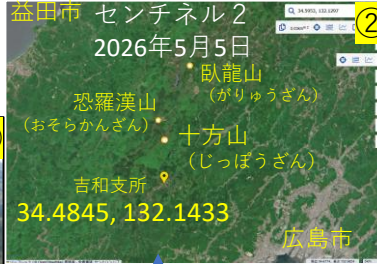
広島県をセンチネル2が5月5日に観測しています。②

- ・トゥーカーでは、新緑の頃と紅葉の頃とも、鳥海山周辺と広島県の十方山～臥龍山にかけて同じような色が広がっています。
- ・「土地被覆と土地利用」レイヤーでは落葉広葉樹の広がり確認できます。

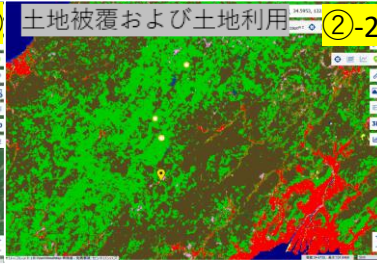
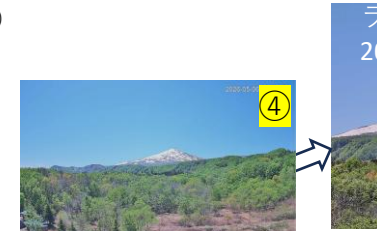
ライブカメラ画像と鳥海山周辺の四季の巡りをセンチネル2観測画像関係づけて追ってみませんか。

林野庁は、森林の状態とその変化の動向を調査しています、第1期(平成11～15年度)～第4期(平成26～30年度)。現在は、令和6年度から第6期調査を行っています。その第4期調査報告にブナに関する確認状況が公表されています。⑦

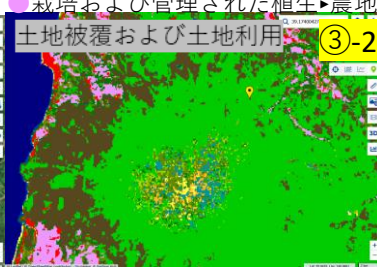
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/tayouseichousa/attach/pdf/buna-1.pdf>



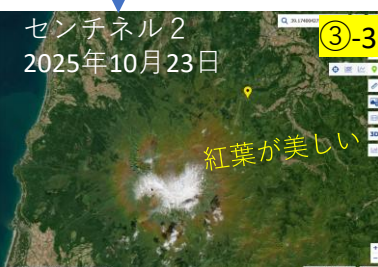
トゥルーカラー



土地被覆および土地利用



トゥルーカラー



環境省「森を調べる」でのブナ林と杉林の違い-森にはどのようなはたらきがあるのでしょうか? ⑥

ブナ林	杉林
根を大きく張る	根をあまり大きく張らない。
葉がすき通り、森の中は明るい。そのため多様な下草が生えている。	葉はとがっていて光を通さず森の中は暗い。森の中に生える植物の種類は少ない。
降った雨は、葉・枝・幹を伝い根元にたくわえられる。地表は落葉が幾重にも重なり雨を含んでスポンジ状になっている。水を浄化し、流れを調節する。	雨はとがった葉の先にたまり蒸発してしまう。落葉が少なく根にも水をたくわえないので、地下にたくわえられる水は少ない。
根元や地面にたくわえられた水は地下水となり、沢となって流れ出す。スポンジ状の落葉は、その中に生息する微生物により分解され、養分となり土壌を肥やし、川に流れ出た養分は海もうるおす。	-
光と水と豊かな土壌が多様な生物を育む。	たくわえる養分の量も少ない。生息する生物は、ブナ林に比べ多様性に乏しい。

https://www.env.go.jp/water/heisa/heisa_net/setouchiNet/seto/g1/g1chapter3/mori.html

